

4月 水稻生産情報

令和4年4月
J A つがる弘前
岩木地区営農係

これからの管理作業(5月20日田植の場合)

1. 催芽(4月14日頃)

催芽の温度は30~32℃で16~20時間程度行い、種籾がハト胸状態になったら終了しましょう。
【注意点】・40℃以上になると発芽能力が低下します。・芽の伸ばしすぎは芽の欠けを助長します。
・ハト胸状態になったら冷水につけて種籾袋内部の熱をとり根の伸びすぎを抑えましょう。

ハト胸(催芽完了)



伸ばし過ぎ



2. 播種(4月15日頃)

催芽籾は1箱当たり120gを目安に播種しましょう。厚播きは、徒長苗やムレ苗の原因となります。

3. 苗の管理(4月15日頃から)

区分	日数	温度管理		管理のポイント
		夜間	日中	
出芽期	0 ~ 5	10℃	35℃	ハウス育苗 シルバーポリトウ等の平張り被覆は、5mm程度の出芽が7~8割確認できたら速やかに取り除きましょう。 折衷苗代 置床は耳たぶ程度の硬さとしましょう。柔らかすぎると過湿になりやすく、出芽不良の原因となります。 ※ハウス、苗代の内部が高温になる場合は、出芽前でも換気を行いましょう。
~1.5葉期	6 ~ 15	5℃	30℃	高温・過湿の条件下で苗立ち枯れ病が発生しやすくなります。細やかな温度管理を行いましょう。 苗立ち枯れ病が発生した場合、ナエファインフロアブル1,000倍液を1箱あたり500cc灌注しましょう。 ※ナエファインフロアブルの年間使用回数は2回以内です。使用回数に注意しましょう。
1.5~3.0葉期	16 ~ 30	5℃	25℃	1.5~3.0葉期は苗が伸びやすい時期です。高温に注意すると共に、育苗箱の水分を確認し、葉先が巻き始めた頃、朝方にたっぷりかん水しましょう。 ※晴天の霹靂はつがるロマンより徒長しやすい品種です。水管理や温度管理は注意しましょう。 ~追肥~ 葉色が淡くなった場合、硫安を1箱当たり現物で5gを500ccの水に溶かし灌水しましょう。追肥は灌水前に行い、追肥後は必ず水洗いを行いましょう。
3.0~3.5葉期	31 ~ 35	5℃	20℃	霜が降りる時以外は外気に慣らして、苗を硬く丈夫に育てましょう。 田植え5日前くらいから、日中は全面開放し、夜間は上部のみ被覆し、両裾は開放しましょう。

4. ケイ酸質資材と肥料の本田への施用

ケイ酸質資材と各肥料の施用目安は右の通りです。土質によって施用量を加減しましょう。

5月20日定植予定の場合、ケイ酸質資材は4月中旬頃、肥料は4月下旬頃を目安に施用しましょう。

晴天の霹靂作付者の皆様へ

肥料やケイ酸質資材の施用量は、土壌診断結果に基づきます。施用量など不明な点がございましたら営農係までお問い合わせください。

施肥法	品名	袋数(10a)	
		つがるロマン	まっしぐら
基肥	つがるロマン	2.5袋	3.5袋
	有機化成エコ米	2.5袋	3.5袋
	マップ264号	2.1袋	3.0袋
	高度化成484	1.8袋	2.5袋
	高度化成オール14	1.8袋	2.5袋
全量基肥	ニューてまいらず	3.5袋	4.5袋
	水稻春一発	3.5袋	4.5袋
	一発あど楽	1.8袋	2.3袋
ケイ酸質資材	スーパーケイサン	2~3袋	2~3袋